

はなはな

千葉 良一 著

Vol. 11

八峰町関東ふるさと会 会報

2020年9月発行



右上：峰浜小学校
右下：八森小学校
左2点：八峰中学校
学校情報は16ページ参照

第十二回総会、懇親会 新型コロナウイルスで中止に

八峰町関東ふるさと会会長

戸田 真里

会員並びに八峰町民の皆様方には日頃より当会の活動に格別のご厚誼を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響を心配しておりますが、いかがでしたでしょうか。

初めに十一月十五日に予定しておりました「第十二回総会、懇親会」は、七月五日に第一回オンライン幹事会を実施し協議の結果、ご出席の皆様方の安心、安全を第一と考へ、残念ながら中止とさせて頂きましたことをご報告いたします。

年に一度の仲間や知人との再会、名物きりたんぼ鍋、演芸などを楽しみにされていた事と思いますが、本当に申し訳なくお詫び申し上げます。

しかし、総会が中止の場合でも会報は発行する事とし、会報委員の頑張りにより、本日お届けすることが出来ました。

次に、当会は様々な改革にあたっております。

その一、会員名簿の整理。

既存会員様、新規会員様、都合により退会した会員様の情報の整理、及び会員情報のデータベース化による一元管理化。これにより、これまで担当者ごと、目的ごとに存在していた会員リスト間の不整合も無くなり、会員情報メンテナンスの効率化・省力化と、我々幹事による各種発送作業の効率化を図れました。

その二、会計決算書作成の効率化。

年会費や総会、懇親会費等の記載漏れを防ぐためにデータをデジタル保存すると共に、経理明細データから決算書作成をシステム化により効率化・省力化します。

その三、会報委員会、幹事会のオンライン化。

今回の様な非常事態になった場合でも幹事会は開催出来ます。

その四、ホームページの充実。

ふるさと八峰町の様子など、担当者が時々更新してまいりますのでぜひ覗いてみて下さい。そしてご意見などもお寄せ下さい。

その五、新規会員の入会推進。

毎年苦労しているのがこの新会員の獲得です。

幹事だけの力ではどうしても限界があり、ここは会員の皆様方のお力をお借りしたいと思っております。

知人、後輩、仲間、家族などにこの会の紹介と、入会をお勧めいただき、一度総会・懇親会にお連れくださる様ぜひご協力をお願いいたします。

今後も皆様方のご理解とご厚誼に預かりながら、当会が益々繁栄します様役員（幹事）共々頑張る所存でございます。

最後に八峰町の皆様、会員の皆様、この会報をご覧の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。来年はぜひお会いいたしましょう。



関東ふるさと会の皆様へ

八峰町長 森田 新一郎



令和の時代になって初めての新年を迎え、今年こそは台風や大雨などの自然災害が少なく穏やかな一年になりませうと願っていましたが、まさかこのような社会になるとは思いませんでした。人類が住んでいるすべての大陸で「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るい、世界中の暮らしや経済に甚大な被害を及ぼし、かつ感染が急速に拡大中だからです。皆さんの首都圏では、いつ感染するかわからない不安と背中合わせであることや、飲み方等を自粛した日常生活で大変だと思えますが、マスク着用やオンライン飲み会などの新しい生活様式に慣れながら元気で頑張っていた皆さまようお祈りいたします。幸い皆さんのふるさと八峰町では感染者数がいまだゼロという喜ばしい結果（七月現在）ですが、イベントや行事や観光産業などには大きな影響を及ぼしています。夏の風物詩である「雄島花火大会」や「あわびの里づくりまつり」を始め、御所の台パークの「さくらまつり」やポンポコ山の「んめものまつり」が中止になったほか、町内宿泊施設で宿泊や宴会の予約キャンセル

が相次ぎました。また、町内一のマンモス校であり、様々な事業に毎回二百人以上の学生が参加する「ことぶき大学」が、三密回避の観点から休校になったほか、夏に挙行している「成人式」も来年一月に延期することといたしました。さらに、四月から六月は、様々な団体から懇親会付きの総会等の案内が毎年三十回以上あるのですが、今年度は一回でした。町長としての折り返し点を迎えます。今回の未曾有な災いを通じて、これまでの時代潮流であった「グローバリゼーション」や、これまで地方があこがれていた利便性、快適性などの都会における「過密」が問題だと感じました。かつての「産業空洞化現象と逆の動き」と、都会から私たちの自然豊かな地方への「ヒトの流れ」に着目しているところでは、今は、「新型コロナウイルス感染症」の感染防止と経済支援が最優先ですが、治療薬やワクチンの開発が進み必ず終息できることを信じ、今後とも将来的に夢と希望がある元気な八峰町づくりの実現に向け全力で頑張ります。

コロナ禍の田舎暮らし

八峰町議会議長 門脇 直樹



現在東京都がロードマップのステップ3に移行しようと協議している、まさにコロナ禍の最中でこの原稿を書いております。ふるさと会の会員の皆様も、故郷に残るご家族等に会うことすらできない状況下で、どれほどご心配されたことかと思われます。おかげさまで今のところ、八峰町では感染者は確認されておりませんが、高齢化の進む過疎の町でもあり、自粛要請解除にも伴い、今後も予断の許さない日々が続くものと思っております。今はまだ、恒例の「八峰町関東ふるさと会」が昨年同様に開催できるのかどうかさえ、不透明な状況であります。コロナ禍を思うに、つくづく田舎のありがたさというものを感じる事ができた貴重な時間であったように思います。全国各地の都会と呼ばれる地域で集団感染が発生していた中で、秋田県を含む地方では、他県からの移動などによる単発的な発症はありましたが、その後も、住民皆が新生活様式をきちんと守り、普段とさほど変化のない自粛生活であったことはありがたいことでした。そんな田舎生活の醍醐味といえば、やはり大自然との共

生。美しい空気を胸いっぱい吸って、豊かな大地を踏みしめながら、実りに感謝して生活を営む、これにつきまます。自分は7月からアワビとサザエの素潜り漁に出ます。目を瞑れば、地元の岩場の状態が手に取るように見えてきます。今日ほどのあたりを攻めてみようか。昨日の場所にもう一度行ってみようか。など空想しているだけでワクワクしてきます。ウェットスーツを着て、錘をつけて潜水を繰り返すと、結構な疲労感があります。青空の下で日本海を自由に潜り、泳ぎ回すことは、とても充実した時間でありまます。さらに、疲れ切った体を岩場に預け、太陽の光を浴びながら、「ひねもすのたり」な時間ほど、贅沢な時間はありません。眩しく光り輝く夏こそが、自分の一番好きな季節です。コロナ禍で遠方からの帰省が難しい昨今ですが、故郷八峰町は、昨年と同じ深い緑に包まれ、川は豊かな水を湛え、昨年と同じ日の光に照らされております。どうか一日も早くコロナの収束を迎え、皆様と以前と同じようにお会いできる日が来ることを心より祈念いたします。

八峰町の町民アンケートから 浮かび上がる現在の課題とは？

八峰町関東ふるさと会
幹事 須藤 正喜

大都市以外の全国的な課題であるが、八峰町でも人口減少が依然大きな難題である。昨年のVol10では、「移住・定住推進のための住まいづくり支援策／少子化対策」について、町の手厚い各施策を紹介した。町では他に「安全安心なまちづくり／空き家対策」「地域の元気づくり／交流促進対策」など細かな施策を打ち出している。詳しくは下段の各表の通り（『広報はつぼう』2020年4月号参照）。ただ、町民の生の声からは別の課題もうかがえる。

令和元年8～10月に行われた「一般／中学生への町民アンケート」によると、一般の60％／中学生の80％以上が「八峰町は住みやすい」と答えている。また、「住み続けたい」は一般が70％以上、中学生は34％。重視すべき施策として支持率が最も高いのは、「快適で安全な暮らし」項目では一般が「公共交通の充実」（28・8％）、中学生は「生活基盤の整備」（23・6％）。また「未来につながる産業づくり」では一般／中学生とも農業・水産業・観光産業の振興策を挙げる比率が高い。興味深いのは、自由記載欄の町民の意見であり、そこでは次の6点の

- ① 一人暮らしの高齢者への支援
- ② 自然環境保護―特に洋上風力発電への対応（賛否両論ある？）
- ③ 町全体の交流イベントの開催
- ④ 特に高齢者の移動（交通）手段の確保―町内巡回バス等
- ⑤ 廃校の再活用―町民の交流拠点にするなど
- ⑥ サル・クマ対策―出没マップ作りなど

どれも切実ではあるが、解決が簡単ではない問題と思われる。
首都圏で暮らす「関東ふるさと会」

A. 八峰町地域の元気づくり活動支援事業

補助対象事業	①町民に生きがいをもたらす元気を与える事業 ②地域にまつわる伝統文化の継承・復興等に関する事業
補助対象者	町内に在住、在学、在勤の者で構成され町内に活動拠点を有する団体及び個人
補助対象経費	上記、補助対象事業の実施に要する経費
補助金額	補助対象経費の10/10、または10万円のいずれか低い方の額
応募期限	令和3年1月29日（金）

B. 八峰町交流促進事業

補助対象事業	①定住移住を促進するための体験活動事業（移住ツアー、田舎暮らし体験ツアーなど） ②交流人口の増加を図るための体験活動事業（町の資源を生かしたグリーン・ツーリズムなど）
補助対象者	町内に在住、在学、在勤の者5人以上で構成され、町内に活動拠点を有する団体
補助要件	①八峰町内を会場に実施される事業 ②町内在住者以外の参加者10名以上、 ③宿泊の際は町内の宿泊施設を利用する、④町やマスメディアの取材に協力する以上の4要件を満たす事業
補助対象経費	補助対象町内に在住、在学、在勤の者5人以上で構成され、町内に活動拠点を有する団体事業の実施に要する経費
補助金額	補助対象経費の10/10、または30万円のいずれか低い方の額
応募期限	令和3年1月29日（金）

の皆さん、一緒に考えてみてください。ご意見等がありましたら、16ページに掲載している「ふるさと会事務局」にお寄せください。

C. その他の各種補助制度

	金額
①八峰町雇用創出支援事業（法人・個人）	雇用奨励費：3人まで1人30万円（2年間） 創業支援費：対象経費の1/2（上限100万円）
②八峰町起業チャレンジ応援事業（個人）	上限50万円×3年
③八峰町地域資源活用商品開発等支援補助金（法人・個人）	対象経費の1/2（上限10万円）
④八峰町資格取得支援事業（個人・事業所）	対象経費の1/2（個人上限10万円／事業所上限20万円）
⑤八峰町生産性向上等支援補助金（法人・個人）	新分野参入：対象経費の30%（上限100万円） 生産性向上のための設備・機械：対象経費の15%（上限30万円）
⑥八峰町地域産業活性化専門家招へい事業補助金（団体）	講演会事業・専門家派遣事業：対象経費の10/10（上限10万円）

【訂正】昨年のVol10・4ページ表1「人口減率が高い自治体」中の藤里町の順位12位は正しくは112位でした。訂正するとともにお詫びいたします。

ふるさと納税のご案内 返礼品の新商品紹介

八峰町関東ふるさと会
幹事 白木仁

町のホームページにふるさと納税の寄付状況が掲載されています。初年度の平成20年度が寄付件数22件、寄付金額92万8000円だったのが、9年後の平成29年度には1516件、3371万5501円と、件数で69倍、金額で36倍に膨れ上がっています。しかし、平成29年度をピークに以降は下降傾向を示しています。

今回は、返礼品の新しいメニューをいくつかご紹介します。改めて返礼品のメニューを見て驚きました。かなりの数がリニューアルされていたのです。

まずなんとと言っても驚いたのが、ハタハタが追加になっていったことです。八森と言えば「ハタハタのしょつたる鍋」。冷凍状態での配送も可能な宅急便があるのに、何故ハタハタ



が無いのだからととても不思議でした。しかし、今回初めてハタハタが追加になっていたのです。これは嬉しいですね。現在は予約期間で、

発送は11月下旬〜1月頃の予定です。次に、梨の幸水が追加になっていました。梨と言えば峰浜ですね。一口かじると、とっても甘くて水々しく、幸せな気持ちになります。特に暑い夏には、冷やした梨は最高のご馳走です。申込期間は9月10日まで、発送は8月25日からとなっています。

さらに、椎茸のオイル漬けを紹介いたします。商品名は「秋田しょつたる仕立てしいたけタプナード」と「秋田しょつたる仕立てしいたけバーニャカウダ」です。

タプナードとは、フランス南東部プロバンス地方の料理で、黒オリーブ・アンチョビー・オリーブオイル・香草で作ったペーストで、ニンニク、油漬のマグロなどを加えてもよく、パンに塗ったり、ゆで卵の黄身と混ぜて自身に入れてオードブルにしたり、グリルした魚料理用のつけ合わせにしたりします。



この基本に、地元産椎茸を刻み、しょつつると塩麴、白ワインを加えて独自のタプナードに仕上げました。塩麴の優しい塩味としょつつたるの旨味が後を引く美味しさとなっています。秋田県

特産品コンクール「あきた食のチャンピオンシップ2019」にて奨励賞を受賞しました。

バーニャカウダとは、イタリア・ピエモンテ州を代表する冬の鍋料理です。ピエモンテ語で「バーニャ」は「ソース」、「カウダ」は「熱い」を意味します。テーブルの上に「フォイヨ」と呼ばれるテラコッタ製の鍋を置き、アンチョビ、火を通して柔らかくしたニンニク、オリーブ・オイルを混ぜ合わせたディップソースを温め、野菜を浸して食べるフォンデュに似た料理です。

本商品は、地元産椎茸をペーストにし、しょつつると味噌、ニンニクで仕上げた和風バーニャカウダソースです。味噌とニンニクの香りに椎茸の風味が負けておらず、旨味の強い一品です。ペースト状のため、様々な料理の隠し味に最適です。

規格外の椎茸を活用することで生産者の収入が増える取り組みを評価され、「あきたビジネスプランコンテスト2019」



で準グランプリを受賞しました。尚、これらの商品はノルテカルタのオンラインショップでも購入できます。お店の名前は「Nor-te」

(ノルテ北)「Carta」(カルタ手紙メニュー)という意味だそうです。

次は、桔梗玄米コーヒーです。これは取り寄せていただいたことがあるのですが、予想以上に本格コーヒーでした。もちろん、全く本物のコーヒーと一緒に飲むのは無いのですが、良くあるコーヒーモードキよりはるかにコーヒーに近く、よくぞここまで味わいを出せたものだと驚きました。本商品は1万円以上のふるさと納税でドリッパッグ12袋もらえます。私は一袋で2杯分抽出しています。とても濃いので2杯分抽出しても十分にいけます。しかも、ノンカフェインなので、就寝前でも味わえます。

この商品は、八峰町の加工生産団体「ぬくもり工房」(阿部昌子代表)と、まちおこしNPO「オモシエナ」(板谷大樹代表)が商品化しました。(板谷大樹代表)が商品化しました。どんどん町の特産品を活かした新商品を開発して、町を活性化していきたいと思えます。



これらの他にもここでは紹介できなかった新たな返礼品があります。是非改めて返礼品のページをご覧ください。

懐かしい友を思い

吉田 俊夫（熊本県熊本市在住）

（浜田出身）



ふるさとを離れて、早くも五十年が過ぎ、古希を迎える年齢となりました。

八森はテレビのニュースや災害（悪天、地震）の度に気になり思う所です。自分が通った小学校も中学校も、既に面影はありませんが、思い出す友の顔は中学や高校時代のままなのです。たまに電話をかけると、すぐに秋田弁に戻ってしまうおかしさ。近くにいた人から、吉田さんて東北の人だったのと言われて「んだよ」と答えてしまう自分。なかなか訛りは抜けないものですね。

私は国土交通省の航空管制官として三十数年、北海道から沖縄まで全国を異動し、定年退職後も縁があつて、世界各地を会議出張や派遣の機会をいただきました。いずこも第二の故郷と呼べるくらい懐かしい地ですが、やはり秋田が、そして八森が良いなと思っています。

それでは何が良いのと言われても、すぐに答えが出てきません。自分も含め、やっぱり秋田の人は口下手で自慢下手と感じてしまいます。秋田音頭で指折り数えるほど美味しい物も色々な名物も沢山有るのに、宣伝

があまり上手ではないですね。生まれながらの奥ゆかしさなのでしょうが。

そんな故郷の人達と年に一度会えるところが「ふるさと会」です。懐かしいあの顔この顔、みんな歳を重ねて相応の格好ですが、なかなか元気な仲間が揃います。会場で「きりたんぼ」や「だまっこもち」に舌鼓を打ち、清酒「白瀑」を飲めば一気に昔の同級生に戻り、話に花が咲きます。

このような素敵な集いを楽しみにしているところですが、大変なご時世で開催が気にかかります。私は案内さえいただければ、それこそ飛んで参ります。

今は熊本空港で航空気象観測の仕事をしていますが、我が人生はまさに旅人であったと思っています。

ふるさととは遠きにありて思ふもの
そして悲しくうたふもの
よしや
うらぶれて異土の乞食（かたい）と
なるとても
帰るところにあるまじや
（室生犀星）

一本松と御所の台の桜

門脇 誠三（千葉県佐倉市在住）

（滝ノ間出身）



昨年の『はたはた』Vol10を見て、門脇議長の一文中に「本家の父さん」とあり、私の父のことと分かりました。今でも覚えてくれているとは、本当にありがたいことです。冊子の中の、御所の台の桜祭りを見て、50年程前の祖父の話の思い出しました。小さい頃『あきた白神駅』周辺を一本松と呼んでいました。そのときまで一本松は「ハタハタ館」から岩館方面へ50〜60m行つた左側にある立派な黒松数本が由来と思つておりました。本当は、御所の台の隣の山中腹に立つ大きな一本の赤松の木が地名の由来だそうです。その松を、当時のきこりが間違えて切つてしまいました。その木は滝ノ間部落のものなので騒然となり、結果、賠償金で話をついたそうです。そのお金を基に滝ノ間部落の老人会の人々が御所の台に桜の苗木を植えたとのこと。そのころは車も少なく担いで苗木を運んだんでしようね、苦労が見えるようです。当時は、山もあまり整備もされてなく、行きたいとも思いませんでしたが、祖父は「オメらが、孫連れてくる頃、エエ花見が出来るよ」と言っていました。（当時、祖

父が部落の役員かなにかで、私は祖父の茶のみ相手でした。）植えてから20年後くらいに一度、母と娘と夫婦で行きました。そのときでも、あまり感動もなかったように思います。

小学生の頃「ハタハタ館」の隣にあるトレーラハウス付近ではソフトボールの練習をよくしました。「一本松に行くぞ」の声にその場所に集まりました。夏休みには部落対抗の大会もあり、あの頃は子供も大勢いました。戦争のなごりらしく内野の中心に穴があり、それを避けるように遊びました。帰りには日本の遠くの方に竜巻が2、3本立っていることもありました。その時は怖いと思うことは少なかったと思います。きつと親が守ってくれるとか遠くでの事でも思っていたんでしようね。本当は怖いことです。

私も60歳代になり、度々その頃のことを思い出します。そして御所の台に植樹してくれた滝ノ間老人会の方々、感謝します。ありがとうございました。今では立派な桜祭りが行われていたんですね。桜の頃はあまり帰郷しなかつたのですが、私も花見に行つて観たいものだと思います。

五能線と八峰町

本多 正一（千葉県印西市在住）

（水沢出身）



東北の玄関口、上野駅に足を踏み入れて五三年の年月が流れ、世間では団塊の世代と言われて久しい。昭和で上京し就職、平成で定年退職、再就職先の日本相撲協会に約八年在職。令和になり現在は帝国ホテル内の病院で非常勤の仕事をしている。

それでは、五能線で八峰町に向かって出発進行。八峰町に入るとまず車窓左に峰浜の観光スポット「ポンポコ山と道の駅」が見える。ここでは「石川の十割そば」が有名で、都会にはない味は絶品。八峰風力発電の高さ一三〇メートル、直径九〇メートルの大型風車がグルグル回る様は真に壮大な風景。進むと沢目駅左に旧水沢小のグラウンド。父親が旧国鉄にいた関係で水沢に住み小中とここで育ち、思い出深き地元である。小中合同大運動会が思い出され、「昼の食事は母が夜中に起きて作った手料理」が目につかぶ。次は右手に八峰町のシンボル目名潟山（母谷山）と八森山（薬師山）が並ぶ。この風景は感動もの。目名潟山は遠足で登り、頂上から日本海を一望したときのパノラマは今でも忘れられない。春には山菜取り、秋は鍋っこ遠足と思えばつきない

山だ。水沢川の鉄橋を渡って日本海が見えると東八森駅に着き、右手に白瀑神社の鳥居が見える。夏祭りでは神輿を担いで滝に打たれる光景が目につかぶ。左にはハタハタ鮭の鈴木水産。山本合名もあり、日本酒「白瀑」が有名で本当に美味しい。帰ったときは友達と一緒に必ず飲んでいく。進むと泊川、上り坂の程左にはドライブイン。イカ焼き等の旗がゆれている。真下の河岸段丘が美しい。右は旧八森中で、糠森山が目の前に迫る。八森駅では左に花火大会の雄島、その先に白い灯台の八森漁港。土日は八森観光市場が開催され新鮮な魚介類を扱う人でにぎわう。日本海を眺めていると鮎釣りのメッカ真瀬川にさしかかり、滝ノ間駅、あきた白神駅だ。桜木が山の斜面に植えてあり満開のときの花見は絶景だ。能代山本地区では一番と思っている。左はいさりび温泉ハタハタ館。この温泉から見る日本海はまた絶景で、左に男鹿半島・能代火力発電所・大風車・水平線が一望でき、特に日没の景色は全国一と誇りに思う。最後は岩館駅。夏には家族で海水浴にきた思い出の場所だ。日本相撲協会

に勤めていたとき、JRの旅のポスター「日本海、五能線を行くりゾー
未来への期待について

トしらかみ」が目止まり、本当に懐かしく胸が熱くなったものだ。

佐々木 啓（東京都杉並区在住）

（檜台出身）



旧八森町での生活は、父の開明鉦山青森事務所から発盛製錬所への転勤から始まり、観海小学校時代と重なる約七年半でした。

八森町は、自然豊かで山海の幸が豊富、「ここで生活ができない人は、日本のどこでも暮らせないよ」と、よく両親が話しておりました。観海小卒業前に東京に転校したため、八森中学校にて八森・岩館小の同期の皆さんとの知己がないことが残念でしたが、東京八森会および八峰町関連東ふるさと会への参加により、諸先輩や同期の皆様との再会など、新たな出会いに恵まれ、毎回楽しみにしております。

現在ふるさと会参与の干場さんが、私が入社した住友金属鉦山株の先輩と同じ寮だったご縁で紹介をいただき、参加を奨められて以来二十五年にもなりましようか。干場さんの同期の皆様には、参加当初から歳の離れた後輩を2次会に迄お誘いいただきご薫陶を得られましたこと、誠にありがとうございました。

一方、今年度は、コロナ禍の影響

により、開催を見送るとのお知らせを拝受し、誠に残念ですが、やむを得ないと思料しております。コロナ禍は、早々に終息するとは考えられず、おのずとウィズコロナで社会活動や生活様式の変革が一挙に進むことは確実です。労働環境も一変し、勤務のテレワーク化が進み、また自営の企業や飲食店の皆様もご苦労が嵩む状況への工夫や政府や地方自治体からの助成が不可欠な状況です。

八峰町行政関係の皆様には、あしもの課題解決・安全安心へのサービスマンとしてご尽力いただきありがとうございますこと感謝申し上げます。八峰町の未来への期待として、将来のありたい姿を見据えたビジョン策定や、ウィズコロナで加速するデジタル化社会に適応できる未来を担う学童・生徒の資質醸成、八峰町の一次産業の明るい未来実現など次世代の地域振興・産業育成に向けたお取り組みを、さらに推進いただき、自然環境と再生可能エネルギー活用など調和の取れた活力と魅力のある町に発展されますことを祈念しております。

「ふるさと会」の源泉

旧東京八森会幹事 木藤 昭男

(神奈川県川崎市在住)

(滝ノ間出身)



「八峰町関東ふるさと会」の十一年目の総会にはじめて参加した。懇親会が始まり周囲を見ると、顔見知りも見かけたが見知らぬ人も多く、各テーブルは楽しい会話で賑わっていた。

情報化社会の進化は、交流のグローバル化を促しそれに伴い「絆」も多様化し、地域の特性は次第に薄らいでゆく難しい時代とも言えるだろう。こうした社会環境で、「八峰町関東ふるさと会」が、賑やかな交流による「絆」を育んでいることに驚き感動した。

合併の前身「東京八森会」の発足当初の会場は、今日とは違い中学卒業直後、郷里を離れて首都圏、名古屋方面に就職して間もない少年少女を招き、郷里からは恩師、町の関係者、在京の親族並びに町出身の在京の人々も寄り合いテーブルを囲み、何より互いの無事と再会を喜び、安堵を得て涙になる、そうした交流の光景もあった。

この度、「ふるさと会」を振り返る機会を得た。合併の前身「東京八森会」の発足は、六十余年も前である。

思い出の宝庫

旧関東峰浜ふるさと会幹事 佐々木 テル子

(東京都小金井市在住)

(畑谷出身 旧姓 後藤)



敗戦から十年を経て、「高度成長」を唱えながら復興の働き手の多くを戦火で失い、成長産業の担い手は若年層に移り、中学卒業の少年少女が卒業と同時に郷里を遠く離れた首都圏や愛知・名古屋方面の工業圏で就職することとなったのだ。

土着の習慣と暮らしの中で育った少年少女の集団での旅立が始まったのだ。

一九六四年「東京八森会」は、生まれた。

「遠く離れた異郷で働く子供たちと深い絆で寄り添い合う「場」と「機会」を創ろう。人々の温かく固な「志」が、八森町に会の設立を決意させたのだった。

町が主導で、組織の骨格、運営の経費、会長、幹事等の人選に至るまで用意したのだ。

「事務所」は、会長の事務所とし、在京の役員は、会則に町の人々の「志」や「絆」を明確化し、会は「絆の結節点」となり運営にあたることとなった。

当時、在京ふるさと会には見ることのない、特異な「志」による「東京八森会」だったのだ。

激流のような時の流れを感じます。昭和の時代に立ち上がった峰浜ふるさと会、初期の頃の思い出を書かせていただきます。35年前のことです。で、バラバラに浮かんでくる記憶のカケラを集めて振り返ることにします。初回は日本青年館5階。狭い

会場に大人数、久しぶりに会って思いう話弾みました。たちまち甦る故郷なまり、長めの挨拶が終わり少し時間をおいて懇親会。するといきなり笛と太鼓の音が響き、胸が熱くなったのを覚えています。初めて見た駒踊りに感動の嵐。会場で用意された料理より、舌がしつかり覚えていたワラビやエニヨの煮付けの美味しかったことは忘れません。第2回は残暑がまだ厳しい9月、サンケイホールでした。同集落の皆さんがバスで上京、ワクワクしながら待ちました。皆さんの笑顔が嬉しかった。この会場では一大イベントの餅つきをやりました。一風変わった雰囲気の中、生の餅つきショー。つきたてを皆さんに食べていただき大盛況でした。その後は同好会による奴踊り姿が今も目に焼き付いています。

せつかく作ってくれた大福が残ってしまった年があり、友達と外に売りに行き、野球をしていた若者たち「秋田の大福、美味しくて安いよ」と声をかけたたらアツという間に売れました。

当時、役員会は上野でやるが多かったような気がします。村出身の大先輩は様々な分野の方がいて、話を聞くだけで楽しかったことを思い出します。秋の開催に向けて早い時期に意見交換、改善策など、今で言う「お・も・て・な・し」議論をしていました。私はメモを取るだけでしたが貴重な経験をさせていただき、有難くいい思い出として真空パックにして胸にしまつてあります。上京する集落の方々が、どうしたら皆さんに喜んでもらえるか、だまこやそばは足りないより余ったほうがいいだろうなどと心配りしていただいていたことなどを後で知り、本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいでした。八峰町関東ふるさと会が令和の今まで来られたのも沢山の応援のおかげだと思っています。今という時代と向き合って伝統文化の継承を心から願っております。

第11回総会・懇親会スナップ

2019年11月17日(日) 於アルカディア市ヶ谷

紙面の制約上、掲載写真が限られてしまいます。写真は他にもあります。
当会ホームページをご覧ください。 **八峰町ふるさと会** で検索
ふるさと会ホームページ・メニュー → ふるさと会について → 総会写真アルバム



門協議長乾杯発声



橋本五郎さん講演



森田町長挨拶



戸田会長挨拶



受付開始と同時に大混雑



資料の袋詰めに奮闘中



八峰町の特産品です



町長と一緒に雄島花火のPR



人気ナンバー1のきりたんぽ鍋



神馬前会長、お疲れ様でした



やっぱりきりたんぽほうめー



田中優子さん仲間たち・息もぴったりの素晴らしい演奏

出席者からの
メッセージ
来年に向け



旧八森中学校第16期卒業生他

大久保 公子（旧姓小松）（後列左から5人目） 八森中学校第16期卒業・埼玉県ふじみ野市在住・八森椿台出身☆毎年楽しみにしていたふるさと会。だまこ鍋に舌鼓を打ち、八峰町を楽しく語らう。今年に残念ですが、来年はきつとお逢いできると信じております。

我妻 裕見子（旧姓小田嶋）（中列右端） 八森中学校第20期卒業・神奈川県厚木市在住・八森椿台出身☆年に一度のふるさと会でキリタンポを食べ、おしゃべりを楽しみにしている同期生へ、今年残念ながら中止となりましたが、次回を楽しみにしています。



旧八森中学校第20期卒業生他

堤 金久（前列右から3人目） S 33年 沢目中学校卒業・神奈川県綾瀬市在住・峰浜目名瀬出身☆今年も誰かが経験したことのないコロナウイルスに侵されオリンピックが延期。私共が大切に楽しみにしていたふるさと会も中止。来年は健康に注意し元気で逢いましょう。



旧沢目中学校卒業生他



今年も多くの仲間々に会えてよかった



秋田からの参加です



仲間同士の絆は日本一



ゲーな仲間です



いつまでも若々しく元気です



心もお腹いっぱい！！



サインはV? II?



美女たちに囲まれてニンマリの幹事



抽選会で会長賞ゲット！



会長賞「海産物セット」
イメージであり、実際の景品とは異なります



ご協力ありがとうございました。



首都圏秋田県人会連合会の下記の行事は中止となりました。
◆第59回芸能大会 ◆令和2年度文化講演会

AKITAワンダフルフェス（代々木公園）が来年も行われるかは、現時点（9月3日）では不明です。



あふれる緑、大地と共に輝く未来

秋田やまもと農業協同組合

本店 〒018-2104秋田県山本郡三種町鹿渡字町後270
TEL：0185-87-4600（代） FAX：0185-87-4200
代表理事組合長 檜森 保雄

八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



四季の語らい、
くつろぎのひととき。



<http://www.arcadia-jp.org>

BANQUET 宴会・会議 ACCOMMODATION 宿泊 RESTAURANT レストラン

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分

アルカディア市ヶ谷 私学会館

宴会予約直通 **03-6685-0540** 宿泊予約直通 **03-6685-0541**
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3261-9921(代表)



農家民宿

八峰町の生葉を活用した
薬膳メニューにも
チャレンジしております

～笑顔と真心～
一日一組限定のお宿です

〒0185-2505
秋田県山本郡八峰町峰浜
内荒巻家ノ上 41

Tel: 0185-76-3778

Fax: 0185-76-2954

e-mail: motenasi.jun.susiume@ezweb.ne.jp

<http://www.junko-hanamizuki.com/>



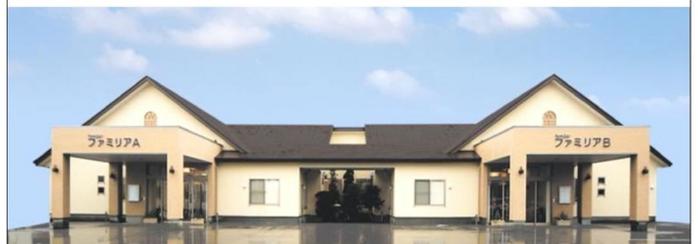
東能代駅もしくは向能代駅までの
送迎があります



クオーレ

虹のホール のしろ みたね ふたつ

familiar 家族葬
ハウス ファミリア



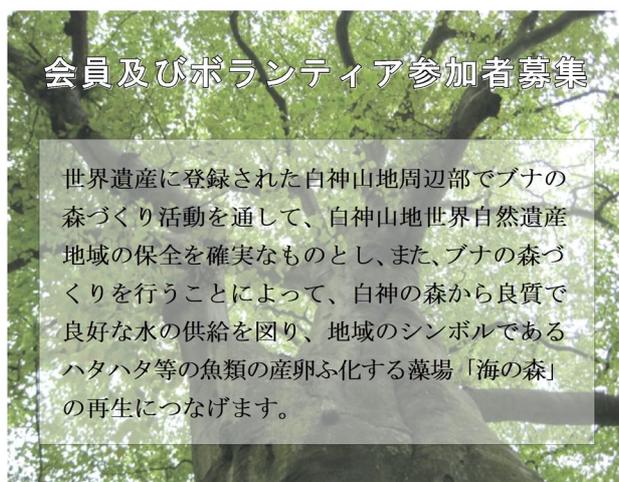
安置から少人数の葬儀まで、ご遺族と一緒に滞在できる施設です。
葬儀の規模によりクオーレのしるもご利用いただけます。

JA葬祭「みどりの会」
入会金10,000円

TEL.0185-54-3004
能代市字五雲橋16-3(年中無休・24時間受付)

NPO法人 白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につまましては、下記までご連絡ください。



会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確かなものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■ TEL: 0185-70-4211 ■ FAX: 0185-70-4214
■ URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

背負動噴霧器	1日3,000円	2台	満切機	乗用、ほか	1日5,000円	2台	
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機	背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V、交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッター	手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー 小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明いたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185 - 70-4160

FAX. 0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土 / 朝8:00～夜7:00
休日 / 日・祝日

秋田料理 **酒香童子** 鶏味噌焼 舟

東京都墨田区 東向島2-30-11-1F
TEL:03-3619-1676

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-11-21
マカ 03-3612-4127

白神山地の大自然と
共に歩んで百有余年

八峰町産の酒米で
造った酒を
海外十二カ国に
輸出しています。

**白瀑・山本
山本酒造店**

〒018-2678
秋田県山本郡八峰町八森字八森269
電話 0185-77-2311 FAX 0185-77-2312
E-mail info-shirataki@shirakami.or.jp

— 途絶えなかった訳がある —

伝承千年

0120-022170 FAX 0185-77-3601
http://www.suzuki-suisan.co.jp/

米の国・秋田が育んだ **秋田名産**

はたはた 鮎

低温熟成発酵 秋田(株)鈴木水産 SUZUKI SUISAN

麹を使わず、お米と人参・生姜でじっくり
低温熟成発酵させた鈴木水産謹製の飯鮎です。

苦楽を共にする蔵人、数々の受賞歴は我々の誇り

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。

秋田名物 **きりたんぼセット**

10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

地方発送
承ります

申し込みご予約は
TEL. 0185-76-2529 FAX. 0185-76-3156
〒018-2507
秋田県山本郡八峰町峰浜田中宇大土面17 **レストラン 峰**
ホームページ <http://www.shirakami.or.jp/~mine/>

～ ご発送専用商品(冷凍便) ～

CAS 志んこ

八峰町にお帰りの際は、ぜひ“出来たて”をどうぞ…

～ 出荷ご希望日の3日前までにご注文ください～

味と心で ぐあいさつ ● 上町本店 能代市上町12-2
セキト TEL 0185-55-0030 営9:00～13:00
www.sekito.jp ● バイパス店 能代市宇内下内崎63-13
TEL 0185-52-1230 営8:30～18:30

TEL 0185-54-3131 ・ FAX 0185-54-2433
地方発送のご注文はこちらへ

日本海と白神山地が出逢う宿 海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で
心と体を癒してください

ご宿泊

- 美しい景色を一人占め
- 特別な時間をゆったりと過ごす

八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>
秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地
TEL: 0185-77-2770(代)

子どもに夢を！ 誇れる郷土を！
地域に活力を！

2021年

第35回雄島花火大会

8月15日打ち上げ（毎年）

雄島花火実行委員会

会長 大山 猛

地域と共に！



Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

門脇家 おーる秋田・ふるさと館 みんなの実家



こんなことに利用できます
◎首都圏からの帰省時、気軽
に立ち寄る宿泊場所として
◎宿泊研修の場所として
◎グループでの旅行の宿泊に
◎移住体験場所として

アクセス
☆秋田自動車道
「秋田北IC」
出口より3分
☆JR秋田駅より約10km
☆JR土崎駅より約5km

〒010-0136 秋田県秋田市上新城中片野36-35
館長 門脇 成英 携帯 090-2660-2000
電話 018-853-0901 FAX 018-853-0908
URL <http://www.all-akita-furusato.jp>

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3
TEL:0185-77-3161 FAX:77-3008



あわびの里づくりまつり

令和3年8月第一土曜日開催予定

☆参加者には2年後に「あわび」をお送りします。

おらほの館

地元野菜の直売とご当地ソフトクリーム

TEL0185-76-4649

道のレストラン はっぼう ☎76-4455

八峰町峰浜沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり

さまざまな理由でお墓参りができない、管理ができない方のために

お墓参り代行

お墓掃除代行

草刈り
ゴミ拾い
管理全般

これまで一度建てたお墓は先祖代々受け継ぎ、管理していくのが一般的とされてきました。しかし秋田県の少子高齢化、県外への移住者が増加したことで、管理が行き届いていないお墓も増えています。

- 地元から離れて暮らしているため、こまめにお墓に行けなくなった
- 高齢となって掃除などの重労働が難しい 等々

秋田県内全域で対応可能です。ご依頼主には写真付き終了報告書を提出します。

当社では信頼できる秋田県在住のスタッフを派遣し、責任を持って代行いたします。

お墓のあらゆるご相談を承っております。お気軽にご相談ください。

費用など詳細は
右記までお問い合わせ
ください

(株)東日本メモリアルサービス 秋田営業所

成田竜也(旧鷹巣町出身)まで

〒010-0136 秋田市上新城中片野36-35 TEL080-3274-5681 FAX018-853-0908 info@memorialservice.jp <http://594project.jp/>

“最も美味しいきりたんぼ鍋”に
とことんこだわりました!!

お取り寄せ

「比内地鶏 きりたんぼ鍋セット」
2~3人前 5,400円

- ・裁き立ての肉と丸ごと野菜
- ・毎日仕込む作り立てのスープ
- ・手造りの肉厚きりたんぼ



秋田比内地鶏生産責任者の店 【お問合せ】

本家あべや秋田店 018-825-1180

〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-3 エリアなかいち商業施設内1F

「在宅薬剤管理指導」 行っております。

皆川薬局

秋田県糖尿病療養指導士

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・山脇真理

八峰町峰浜沢目駅前 TEL. 76-2052・FAX. 76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用



究極の美味 グリーン豆腐

従来の豆腐より栄養価が高く
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く
美味です。

◇◇◇◇松岡食品 おかげさまで創業70年を迎えました◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷43-3

松岡 清悦 ・ 松岡 清也

TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646

E-mail : info@matsuoka-foods.com



◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆

八峰町のおみやげに



カステラドーナツ



チーズブッセ

美味しいお菓子の店

高峰堂

八峰町峰浜字豊後長根145 TEL 0185-76-2041

営業時間 7:00~19:30 不定休

森のリゾート、海のリゾート

あきた白神温泉ホテル

八峰町八森字磯村100番地

TEL 0185-77-2233



0185-77-2255



秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先

秋田県漁業協同組合
北部総括支所

第12回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会中止のお知らせ

会員の皆様にはすでにご案内のとおり、第12回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会は新型コロナウイルスの影響により中止としました。なお、来年度第13回総会・懇親会は11月21日（日）を予定しています。

八峰町にお住いの皆様へのお願い

この会報を読み終わりましたら、捨てないで保管しておいてください。そして、関東地区にお住いのご家族が帰省されましたら、お渡し願います。

現在のふるさと会会員はほとんどが60歳以上です。これはふるさと会発足時に旧八森町、旧峰浜村の住民のご協力により集められた名簿によるものです。しかし、その後は個人情報保護もあり、新たな名簿はほとんど集まらなくなりました。その結果、関東地区にお住いの60歳未満の八峰町出身者の多くはふるさと会の存在を知らずにいると思われます。

この会報をご覧になり、ふるさと会に入会いただけるようご協力をお願いします。

入会希望の方は、下記ふるさと会事務局までご連絡下さい。

表紙写真の紹介

●**八森小学校** 平成21年4月に旧八森小学校・観海小学校・岩館小学校が統合して八森小学校が新設された。
学年別児童数（令和2年4月現在）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
16	12	8	25	17	24	102

【校訓】（目指す人間像）海のように 波のように 岩のように

【学校教育目標】よさを伸ばし、つながり、拓く子どもの育成

【学校の特徴】スポ少活動の活躍で近年は野球部が全県大会、東北大会への出場を果たし、学校全体を活気づけている。また10周年記念事業の元気みこし運行などで、仲間とともに何事にも一生懸命取り組もうとする誠実な児童が多い。

●**峰浜小学校** 平成20年4月に水沢小学校と岩子小学校が統合（校名は水沢小学校）、平成28年4月に水沢小学校と塙川小学校が統合されて峰浜小学校が新設された。
学年別児童数（令和2年4月現在）

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
13	15	18	12	22	27	107

【校訓】（目指す人間像）元気、根気、勇氣

【学校教育目標】知・徳・体の調和のとれたふるさとに生きる子どもの育成

【学校の特徴】NHK全国俳句大会、全国学生俳句大会、伊藤園新俳句大賞等において、全国最優秀校、個人の部大賞等の数々の受賞歴があり、「俳句の学校」の伝統を引き継いで行く。

●**八峰中学校** 平成28年4月に八森中学校と峰浜中学校が統合、八峰中学校が新設された。
学年別生徒数（令和2年4月現在）

1年	2年	3年	合計
29	43	45	117

【校訓】進取創造

【学校教育目標】たくましい心と体で 地域とともにある生徒の育成

【目指す学校像】友愛と協働の心で新たな歴史に向かって歩む学校

【学校の特徴】今年度で統合5年目を迎える。日常からICT機器を活用した教科の授業が行われている。加えて、秋田市での町の特産品PR活動や町内イベントでのオリジナル商品の販売など、地域との関わりを大切に「起業家教育」や「職場体験」等にも力を入れている。まだ歴史の浅い学校だが、八森中、峰浜中それぞれの伝統を引継ぎながら、全校生徒で新しい歴史を作り上げようと頑張っている。

《編集後記》全国的に小学校で本年から始まった「英語学習」「プログラミング教育」と、両小学校の「ICT整備状況」について教育委員会の櫻田公男さんから次の報告があった。

「小学3～6年で必修科目となった外国語教育は、外国人の外国語指導助手（ALT）1名体制から、日本人の外国語指導員1名を増員して対応。プログラミング教育はプログラムを使って正多角形を書く、ミニロボットを動かす授業など各校で工夫して取り組んでいる。（ICTについて）タブレット端末は2人につき1台以上、校内全てに無線LANを整備済みで、ほぼ毎日ICT環境を活用した授業が行われている。」

さすが教育先進校だ。（須藤）

八峰町関東ふるさと会 役員一覧

会 長：戸田 眞里
副 会 長：麻木 固磨、北郷 洋子、成田 勘一
幹 事 長：芹田 忍
副幹事長：船越 鉄実、本多 義春
幹 事：飯田 良子、白木 仁、須藤 正喜、
塚本 薫、塚本 康子、吉江 后子、
三浦 博
監 査 役：福田 稔、黒浜 茂子

八峰町関東ふるさと会事務局

〒253-0004

神奈川県茅ヶ崎市甘沼880-9 芹田 忍 方

TEL/FAX 0467-54-2007

◆ 発 行：八峰町関東ふるさと会
◆ 発行責任者：戸田 眞里
◆ 編集委員：須藤 正喜、飯田 良子、白木 仁
芹田 忍